第469回（定例）福崎町議会会議録

平成28年9月6日（火）
午前9時30分開会

1. 平成28年9月6日、第469回（定例）福崎町議会は、福崎町役場に招集された。

1. 出席議員 14名

1番	城谷英之	8番	山口純
2番	三輪一朝	9番	石野光市
3番	牛尾雅一	10番	小林博
4番	志水正幸	11番	富田昭市
5番	松岡秀人	12番	釜坂道弘
6番	高井國年	13番	宮内富夫
7番	北山孝彦	14番	難波靖通

※6番 高井國年議員は午前10時45分から午前10時50分まで一時退席

1. 欠席議員（なし）

1. 事務局より出席した職員

事務局 長 木ノ本 雅 佳 主 査 佐 野 允 保

1. 説明のため出席した職員

町 長	橋本省三	副 町 長	尾崎吉晴
教 育 長	高寄十郎	技 監	村上修
公 営 企 業 参 事	近藤博之	会 計 管 理 者	木村千晴
総 務 課 長	山下健介	企 画 財 政 課 長	吉田利彦
税 務 課 長	尾崎俊也	地 域 振 興 課 長	松田清彦
住 民 生 活 課 長	谷岡周和	健 康 福 祉 課 長	三木雅人
農 林 振 興 課 長	松岡伸泰	ま ち づ く り 課 長	福永聡
社 会 教 育 課 長	大塚久典	学 校 教 育 課 長	岩木秀人

代 表 監 査 委 員 高 寄 辰 則

1. 議事日程

第 1 閉会中の所管事務調査報告
第 2 質疑
第 3 討論・採決
第 4 特別委員会の設置
第 5 委員会付託

1. 本日の会議に付した事件

第 1 閉会中の所管事務調査報告
第 2 質疑
第 3 討論・採決
第 4 特別委員会の設置

第 5 委員会付託

1. 開議

議 長 皆さん、おはようございます。
ただいまから本日の会議を開きます。
ただいまの出席議員数は14名でございます。
定足数に達しております。
それでは、これより本日の日程に入ります。

日程第1 閉会中の所管事務調査報告

議 長 日程第1は、閉会中の所管事務調査報告であります。
各委員会の活動について、委員長に報告を求めます。
総務文教常任委員会、志水委員長。

志水総務文教 総務文教常任委員会から所管事務の調査報告をいたします。

常任委員長 6月定例議会以降、議会閉会中に委員会を7月26日と8月23日の2回、開催いたしました。

この委員会で所管の担当課からの報告を受け、委員会としての所管事務の調査をいたしました。

調査の結果につきましては、配付されております委員会調査報告書のとおりであります。委員会において委員からの質問や当局の答弁の中で特に補足すべき点を簡単に報告いたします。

最初に7月26日の委員会ですが、総務課からの報告は、熊本地震への災害支援についての報告があり、役場の職員は派遣していないが、福崎西中学校の教員1名が1週間派遣されたとの報告がありました。

次に、7月4日に本町と中播磨県民センターとの意見交換会が実施され、本町から社会資本整備計画や防災・減災対策などを提案し、県民センターからは地域防災力の推進や銀の馬車道プロジェクトの推進などの提案があり、意見交換をしたとの報告がありました。

また、平成28年度の区長会からの要望を受け、10月の区長会総会で回答する予定であるとのことあります。

また、橋本町長のほか、幹部が地域に出向いて、住民の方々と町政についての意見を聞く、いわゆる行政懇談会を、本年度は11の集落を対象に実施し、3カ年かけて全集落で実施するとの報告がありました。

次、企画財政課からは、平成28年度の普通交付税の算定結果の報告があり、本年度は昨年度より約2,000万円増加し、10億9,084万5,000円で、委員会当日に閣議決定されたとの報告がありました。

次に、平成27年度地方財政状況調査の報告があり、過去3カ年の比較と財政指標についての説明がありました。

また、初めての取り組みとして、町のホームページに広告を掲載し、一枠につき月額5,000円を徴収するとの報告がありました。

委員から「掲載依頼を積極的に行うべきでは」との意見に、「ふるさと応援寄附金の募集と合わせ、工業団地協議会や商工会にチラシを持っていく」との答弁がありました。

次に、平成32年度までの5カ年計画である第5次行政改革大綱及び実施計画

案の報告があり、委員から「利用しやすい公共交通サービスの整備を検討の記載があるが、巡回バスも含んでいるのか」との問いについて、「各市町との連携のあり方や、巡回バスについても総合的な運営の中に含んでいる」との答弁がありました。

次、出納室からは、平成27年度の一般会計及び特別会計の決算についての報告と、平成28年度6月末現在の歳入歳出計算書により報告がございました。

次に、平成28年度、29年度の競争入札等参加資格審査申請、物品でありま

すけれども、その登録状況の報告がありました。

また、出納室前のJAのATM、現金自動預払機について、委員から「変更になって支障はないのか」との質問に、「心配はしていたが、公金受け入れは以前と変更はなく、個人的な取扱だけATMで対応していますので、特に問題はない」とのことです。さらに委員から「設備はJAが負担し、改修は役場が負担する」と言っていたが、役場の負担額は幾らかの質問に、「結果的に全額JAの負担で、ATMが設置された」との答弁がありました。

税務課からは、平成27年度の町税及び住宅資金貸付事業の決算状況についての報告と、平成28年度の町税等の賦課状況及び資産管理条例第7条に基づく徴収計画についての報告がありました。

委員から「後期高齢者医療保険料の過年度の滞納繰越分の徴収見込額が35%と、他に比べて高いが、徴収できるのか」との質問に、「昨年度の実績は22.3%であり、滞納額も少ないので、不可能な額ではない」との答弁がありました。

学校教育課からは、平成27年度の学校給食費及び保育料の収入状況と、28年度の徴収計画についての報告がございました。

学校等の給食における異物混入の状況についての報告があり、委員から「6月23日、難波ベーカリーでの異物の発生に対する業者の対応が遅いのでは」との質問に、「兵庫県学校給食食育支援センターの品質管理課に異物の検査を依頼し、7月5日に結果が報告されております。今後はできるだけ早く対応するように、業者の指導を行う」とのことです。委員から「異物混入に対するマニュアルはあるのか」の質問に、「兵庫県が異物混入に対するマニュアルを作成しており、児童・生徒の健康に被害がある重要な案件については公表し、対応してまいります」との答弁がありました。

次に、認定こども園の定員について、「定員は施設ごとに年齢や1号、2号、3号認定の区分ごとに定めているが、一部定員を超えている。問題はないのか」の質問に、「県に確認したところ、年間を通じて恒常的に120%を超えている場合は定員の見直しなどの指導をする」とのことです。

また、その他の報告の中で、学童保育園指導員の問題発言についての報告があり、指導員によるプライバシー侵害の発言があったことから、人権問題についての個別指導、あるいは全体研修を実施しているとの報告がございました。

また、本委員会で、先ほど報告しました難波ベーカリーと学童保育園指導員のプライバシー発言のあった学童保育園の現地調査を行いました。

難波ベーカリーの代表者から、建物が老朽化しており、県道の拡幅工事に合わせ、施設を移設する予定であると聞き、委員から「それまでの異物混入には特に注意されるよう、業者の指導をされたい」との意見がありました。

次に、8月23日の委員会の報告を行います。

総務課から、平成29年度の職員採用試験の申込状況についての報告を受け、一般行政職の採用予定者数1名に対し、受験申込数が34人で、9月18日に神戸医療福祉大学で実施すること、次に、平成28年度の公務員給与等の勧告につ

いて、民間給与との格差0.17%を埋めるため、俸給表の引き上げと、0.1カ月分のボーナス、勤勉手当でありますけれども、この引き上げ、さらに、配偶者に係る扶養手当の見直しなどの報告がございました。

また、遠野市との友好交流事業について、10月8日、9日に遠野市産業まつりに本町が出店し、本町の10月29日、30日の産業祭に遠野市から出店され、30日には有名な遠野市の消防団ラッパ隊の演奏もあるとの報告がありました。

企画財政課からは、公共施設等総合管理計画についての報告がありました。この計画は、本年度中に本町の公共施設全般の老朽化対策などを総合的かつ計画的に対策を講じるもので、さらにその計画により、学校、河川、道路などの個別計画を策定しようとするものであります。

委員から「この作業を7月に株式会社トーマツに委託されておりますが、今年度中にできるのか」との質問に、「町が保有する財産の固定資産台帳の整備などを含め、計画の策定を進めていく」との答弁がありました。また、委員から「地方創生推進交付金第1回申請分の対象事業費として、7,389万円が採択されたとのことであるが、申請に対する交付率と、この事業の進捗」についての質問があり、「わずか30万円ほど削られ、ほぼ全額採択され、県全体の採択率は78.3%であり、28年度は928万円の事業実施を予定している」との答弁がありました。

出納室から、平成28年度歳入歳出計算書7月末現在の報告がありました。

税務課からは、過去5年間の町税等の口座振替及び前納の状況について、報告がありました。

学校教育課からは、認定こども園の1号認定、幼稚園児に相当する年齢ですが、この保育料について、平成27年8月の委員会での説明から変更はなく、平成31年までの5カ年で国が定める基準額のおおむね2分の1を目標として、段階的に増額していくとの説明があり、29年度についても当初のと通りの保育料にするとの報告がありました。

次に、給食センター配送車、2トン車ですけれども、この入札の結果が、豊紙発動機が520万円で落札され、29年3月24日に納車されるとのことであり、ます。

社会教育課からは、文化センタートイレ洋式化工事の入札について、鬼本工業有限会社が1,132万9,000円で落札され、工期は12月28日とのことであり、ます。委員から「秋まつりの関係で工期を短縮できないか」との質問に、「工期はできるだけ短縮し、秋まつりまでに、1階のトイレの改修工事は終わらせたい」との答弁がありました。

以上で、各課からの報告は終わりましたが、最後に全体を通じての質問の中で、委員から「遠野市との交流事業として、秋まつり以外の交流事業はないのか」との質問に、「博物館同士の交流展のほか、今年度遠野市の消防団操法大会で、岩手県代表に選出されたことから、お祝いの電報を送るなど、情報の共有に努めている」との答弁がありました。また、「柳田國男検定の上級試験で、最高得点者に遠野市の旅を贈呈する」とのこと、委員から「行政関係のみならず、住民レベルの交流が図れないか」との質問に、「当初の友好都市締結時に、末永い交流を続けていくということで文化交流を、そして産業交流をしているところであり、人の交流については、大事なことから、今後の課題といたします」といった答弁がありました。

次に、難波ベーカリーの移転の時期等についての質問があり、「平成29年度に用地買収、物件補償の予定であり、当該物件も移転の交渉の対象になる予定で

あり、したがって、現在の施設での対応はしっかりとっていただくよう、特に指導していく」とのことでありました。

以上で、議会閉会中の総務文教常任委員会の調査報告といたします。

議 長 総務文教常任委員会からの報告が終わりました。

次、民生まちづくり常任委員会、北山委員長。

北山民生まちづくり 民生まちづくり常任委員会から、議会閉会中の委員会活動について、報告させ
常 任 委 員 長 ていただきます。

委員会は、この間、7月27日と8月24日の2回開催いたしました。

内容は報告書に記載のとおりですので、要点のみ説明させていただきます。

7月27日の委員会について申し上げます。

この委員会では公害防止協定に基づく協議5件と各課からの報告がありました。

公害防止協定についてであります。株式会社デービー精工からの平成28年7月14日付の公害防止協定に基づく協議について、大王パッケージ株式会社関西工場からの平成28年7月13日付の公害防止協定に基づく協議について、千寿製薬株式会社からの平成28年4月1日付の公害防止協定に基づく協議について、株式会社トラストワークスジャパンからの平成28年6月30日付の公害防止協定に基づく協議について、株式会社アタイスからの平成28年6月30日付の公害防止協定に基づく協議についてであります。5件とも、全員賛成で了承いたしました。

続いて、各課からの報告は、要点を絞り、報告をさせていただきます。

1点目は、空き家関連事業についてです。

空き家調査の結果、34戸がD判定、危険空き家と判定されたと報告がありました。このうち、27戸に対して、適正な管理を促す通知を発送したとのこと

です。空き家対策は全国的な問題であり、また、福崎町としても重要な課題です。委員会としても継続して対応していきたいと思っております。

2点目は、上下水道課の福田水源地水道水白濁現象についてです。中継ポンプを入れ替え、原水流入管の改造、バタフライ弁の設置、着水堰の改造を行うことで、白濁現象は改善に向かっているとの報告を受けました。

次に、8月24日の委員会について、報告いたします。

この委員会では公害防止協定に基づく協議5件、各課からの報告がありました。

公害防止協定についてであります。株式会社マンダム福崎工場の平成28年8月10日付の公害防止協定に基づく協議について、福伸電機株式会社西治工場の平成28年8月10日付の公害防止協定に基づく協議について、キョーリンフード工業株式会社の平成28年8月10日付の公害防止協定に基づく協議について、日本レイヤー株式会社の平成28年8月5日付の公害防止協定に基づく協議について、小池酸素工業株式会社からの平成28年8月4日付の公害防止協定に基づく協議について、5件とも全員賛成で了承しました。

続きまして、各課からの報告は、要点を絞り、報告します。

1点目は、株式会社もちむぎ食品センター事業報告についてです。

前期及び目標と比べ、大きく営業利益を伸ばしています。これは、河童、天狗効果による観光客の増加に伴い、もちむぎのやかたでもちむぎ商品の売上が増えていること、営業時間の見直し等により人員を極力絞り、人件費を削減していること等が影響しているとの説明がありました。

これからはもち麦の機能性表示食品認証に取り組むことで、河童・天狗ブーム後の経営戦略を考えていくとのこと

2点目は、福崎町上下水道審議会についてです。

平成28年度は水道料金・工業用水道料金の改定について審議されるということです。

委員から、財政計画等との整合性について質問がありました。また、上下水道が町の行政サービスとして重要であるという認識を持ってほしいという要望がありました。

以上で、民生まちづくり常任委員会の報告とさせていただきます。

議長 民生まちづくり常任委員会の報告が終わりました。

次、議会広報常任委員会、牛尾委員長。

牛尾議会広報常任委員長 議会広報常任委員会より、閉会中の活動報告をさせていただきます。

当委員会は6月24日、7月5日、7月19日、7月25日、7月28日の5回開催をいたしました。

内容は、議会だより第139号の編集で、わかりやすく、読みやすく、親しみやすい議会だよりを目指し、限られた誌面で審議の経過や結果をわかりやすく住民の方々にお知らせするため、よりよい誌面づくりに努めました。

今日、全国的に注目されております政務活動費の収支状況を、昨年を引き続いて掲載いたしました。

なお、政務活動費の透明性を高めるため、今年度から議員ごとの主な支出内容についても掲載いたしました。

また、誌面レイアウトなどに専門的な意見をいただき、編集に活かすため、7月19日の委員会には、中井綜合印刷株式会社の社員の方を招致し、よりよい誌面づくりに努めました。

以上で、議会広報常任委員会からの報告とさせていただきます。

議長 次、議会運営委員会、釜坂委員長。

釜坂議会運営委員長 議会運営委員会から、閉会中の調査活動について報告させていただきます。

本委員会は閉会中の6月30日、7月14日、8月17日、8月26日の4階開催いたしました。

まず、6月30日の委員会における協議事項については、第467回6月定例会の反省と課題について協議をいたしました。

まず、一般質問の人数が少なかったこと、また、議案以外の関連質疑があったこと、一般質問で通告の範囲を超えた質問があったことについては、今後全員協議会で周知していくことを確認いたしました。

次に、9月定例会の運営について、日程の確認をいたしました。

福崎町子ども議会については、予定しておりました開始時間を30分早めて9時30分とすることに決定をいたしました。

また、傍聴者が入り切れないことを予想して、ロビーにモニターを設置して、視聴できるようにすることを決定いたしました。

議会報告会については、26年度から2年連続して実施してきましたが、参加人数が増える見込みもなく、効果が見込めないことから、今年度は報告会を行わないことに決定いたしました。来年度以降については、報告会の方法等を検討し、実施について協議していくことを決定いたしました。

次に、議員が関係する報道については、今後、議会としてどう対応していくか協議をいたしました。まず、本人から事実について確認し、対応を慎重に協議していくことを確認いたしました。

その他、今後の研修会等の予定について、事務局から報告を受けました。

次に、7月14日の委員会における協議事項については、第468回臨時会開

催について、高井議員から7月1日に副議長辞職願が提出され、7月4日に議長が許可したことから、副議長の選挙を付議する事件として、議長名で町長に開催請求することを決定いたしました。会期は7月21日、1日限りとし、副議長の選出方法は投票とすることに決定いたしました。

また、臨時会当日朝の議会運営委員会は開催しないことを決めました。

次に、8月17日の委員会における協議事項については、子ども議会当日の議会運営委員の役割分担を確認するとともに、子ども議員を議場に迎え、リハーサルを行いました。

議員が関係する事件については、不起訴となったとの報告を受けました。このため、不起訴となった事実が確認できる資料の提出を求め、提出後に議会としての対応を再度協議することといたしました。

次に、8月26日の委員会における協議事項については、第469回9月定例会においては、報告2件、議案17件の計19議案を上程予定との報告を受けました。

また、会期は9月2日から26日までの25日間とし、一般質問については9月21日、23日とすることに決定いたしました。

なお、一般質問が7名以下の場合は、9月23日を休会することを確認いたしました。

次に、決算審査特別委員会を設置し、一般会計、特別会計及び企業会計の全会計を付託し、審査を行うことに決定いたしました。

決算審査特別委員会の委員は、議長と議会選出監査委員を除く全議員とすることに決定いたしました。

子ども議会の傍聴者が38名であったとの報告を受けました。

陳情1件については、議場配付することに決定いたしました。

議員派遣については、提案のとおり派遣することに決定いたしました。

また、議員が関係する事件については、関係書類の報告を受けました。また、他市町の事件に対する対応を参考にしながら協議を行いました。結果、当該議員に議場にて謝罪を求めることといたしました。

以上で議会運営委員会からの閉会中の報告とさせていただきます。

議長 以上で、各委員会からの閉会中の所管事務調査の報告を終わります。

次に、高井國年議員より、5月19日に発生した議場外における事件に関して、発言の申し出がありますので、発言を許可いたします。

高井國年議員 本日は私事で本会議の貴重な時間をいただくこと、深くお礼申し上げます。

このたび、私的トラブルによりまして、お騒がせして、議員諸兄を初め、町長さん初めとする職員の皆さん方、町民の皆さん方、大変ご迷惑かけたことを心よりおわび申し上げたいと思います。

釜坂委員長さんもお申されたとおり、プロセスはそのような形になっておりまして、検察庁も処分なしということで、言葉が出ておるみたいでございます。

私、これから福崎町議会議員として、再認識させていただき、精進してまいりたいと思いますので、今後とも皆様方のご鞭撻、ご教授、ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げまして、言葉とさせていただきます。本当にご迷惑かけました。

日程第2 質疑

議長 日程第2は、議案に対する質疑であります。

議案番号順に進めてまいりますが、関係する議案は複数で質疑を受ける場合も

ございますので、あらかじめご了承ください。

なお、議案第48号、議案第49号につきましては、本日全ての議案に対する質疑を終了した時点でお諮りをして、即決したいと思っておりますので、あらかじめご承知置きをお願いいたします。

それでは、報告第9号、第27期株式会社もちむぎ食品センター決算報告について、質疑はありませんか。

3 番 このたびその事業報告の1ページのところを見させていただきますと、非常にその全体計画が1億4,500万円に対して、売上は1億5,292万円ということで、当期純利益1,548万円という、非常にすばらしいその決算の報告を見させていただきました。

26期の報告を見させていただきましたら、売上が1億5,464万円ですか、170万円ほど27期は少ないんですが、利益のほうが26期は約228万円に對しまして、27期は749万9,000円ということで、非常にその利益が出ております。

そしてその、27期の場合は、私はもちむぎのやかたの周辺、また、河童周辺を見ましたら、非常に多くの方が来られていましたので、レストランなり売店に大きく寄与して、売上伸びてるのかなと思ったんですが、売上は170万円減ってるんですが、利益が非常に出てるんですが、そのあたりのことを説明お願いいたします。

地域振興課長 議案の1ページ、事業報告にも書いておられますとおり、27期は営業時間の短縮等で就業時間の見直しを行いまして、人件費の抑制を図りながら、事業体制を見直し、コスト削減に努め、1,548万円の利益を確保することができました。

特に、平成26年に受けました経営改革の方針に基づきまして、その提言内容に沿って改善を進め、経営の健全化に取り組んでまいりました。

特に、製品在庫の圧縮や、精麦袋詰め自社対応、販売商品の見直しに努めまして、変動費を前期に比べまして、約600万円減らすことができたこと、それから、先ほども申し上げましたように人件費の抑制に努めてきたこと等によりまして、利益の確保ができたように考えております。

3 番 非常に努力をしていただきまして、非常にいい結果が出て、大変うれしく思います。

それでは小さな点についてお尋ねするんですが、決算報告書の4ページのところで、営業外収益のところ、雑収入としまして、891万6,639円、これが非常に多いような気がするんですが、内訳をお願いいたします。

地域振興課長 雑収入の中身には、アンテナショップ等の負担に係る町からの補助金ですとか、もち麦普及促進に係る町補助金などを持っております。

中でも第27期は、地域の消費喚起を目的としました地域活性化地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、特産もちむぎ麺の販路を拡大するためのふるさと割700万円を町から補助金としていただいております、その分が大きな収入となっております。

3 番 わかりました。

そしたらその5ページで、販売費及び一般管理費の内訳のところ、最後の段なんですが、雑費のところ506万7,099円ですが、雑費にしては非常に多い金額と思うんですが。

地域振興課長 販売費及び一般管理費の内訳の中にあります雑費506万7,099円の内訳の主なものとしましては、館内の定期清掃でありますとか、会計事務の委託の部分、それから、冷蔵機器等の保守料、警備委託、そういったものが入ってござい

ます。

3 番 わかりました。

引き続きまして、資料の11ページのところで、28期の実施計画書のところで、営業利益のところなんですが、第27期、今期がその決算で749万9,000円とかいうような非常にすばらしい数字が出とるんですが、28期のその予算額250万円と上げてあるんですけども、これはその非常にこの好調を予想される中で、大変低い金額じゃないかと思うんですが、そのあたりをお尋ねいたします。

地域振興課長 28期の利益関係の部分になります。この部分につきましては、人件費等の見直し等を行っております、今年度大きな利益を上げるような形になっております。

当初の段階では、予算としまして250万円を見込んでおりましたが、特にもちむぎ精麦の報道の関係ですとか、あと河童関係、そういった部分で報道関係に取り上げられることによりまして、大きな利益を上げられたものというふうに考えております。

議 長 営業利益が250万円、前期に比べて非常に少ないのではないかという、そういう質疑だと思うんですけど。

地域振興課長 職員につきましては、非常に高齢化しております。そういった部分の中で、人事体制の更新を図っていくために、職員を2名体制というような形で確保する必要等がございます、そういった観点から、28期の利益については抑えたものという形になっている状況でございます。

3 番 先にその26期の決算の時点、27期の計画のときでしたら、予算額はどれほどあげられとったんでしょうか、営業利益の予算額。

地域振興課長 昨年提出させていただきました27期の営業利益につきましては、230万円を見込んでおった状況でございます。

3 番 それがいرونなその河童効果とか、テレビのもち麦のスーパー食材というか、そういう報道があったということで、非常に大変749万円という、大きく伸びたということでございますね。

そして、今年度はその28期はその人件費を上製造費のところを見ますと、220万円ですか、そこら、1人の人件費の分を考えているので、営業利益はちょっと低く設定しているということでの答弁だと思うんです。

テレビの放映が、この計画をつくれる後から出たかということも思うんですけど、高く目標を設定していただいて、モチベーションを上げてもらうこともありますし、そこらあたりはどうでしょうか。

地域振興課長 先ほども申し上げましたように、4番の製造費の中にあります人件費の部分で202万8,261円の増額という、決算額に比べまして増額を見込んでおります。どうしても、会社の状況としまして、人事面で高齢化が進んでおまして、それをこういった時期に更新していくことが非常に大事だというような形で、実施計画を計画させていただいております。よろしくお願いたします。

3 番 それで、最後に町からの貸付金の返済のことなんですが、年に200万円の返済をしていただいておりますが、これだけ非常に好決算が続く予想が立てられますので、その返済の繰り上げというか、そういうふうなことに関してはお考えはございませんでしょうか。

地域振興課長 今年度非常に多くの利益を上げることができたんですが、そういった部分につきましては、老朽化しております什器ですとか、それから、調理関係の備品関係、

そういったものの更新を図りまして、今後の対応を進めてまいりたいというふうに考えております。

議 長 ほかにございませんか。

9 番 1 ページの事業報告のところで、売店部門については人数は大きくなったと、しかし、12月まで前年実績を下回る月が多くなっていましたが、12月以降はふるさと割の効果によって、売上実績4,310万円、計画対比107%となりましたと、このふるさと割については、先ほど雑収入で700万円の補助ですか、このふるさと割というものについて、これが大きな要因というふうに、この売店部門のところでまとめてあるんですけども、このふるさと割というものについては、どのぐらいの期間継続して、どういう内容の形で貢献したというふうに、受け取ったらいいんでしょうか。

地域振興課長 ふるさと割の概要につきましては、先ほども少し説明させていただいたんですが、地域の消費喚起を目的としました地域活性化地域住民生活等緊急支援交付金を活用しまして、特産もちむぎ麵の販路拡大を行っているものでございます。

福崎町から補助金としまして、700万円を収入しておりまして、内容につきましては、もちむぎ麵を3割引で販売しておるという状況でございまして、実施時期につきましては、11月17日から、販売店につきましては年内まで、館につきましては1月中の予算額を執行するまでという形で行っております。

なお、販売店につきましては、町内の12店舗、それから通信販売、それからもちむぎのやかたで販売を行いました。ふるさと割の3割部分に当たる金額につきましては、408万1,251円、また、ふるさと割の経費のほうで325万2,968円を執行しておりまして、そのうち700万円の補助をいただいたというような状況でございます。

9 番 今の説明で、ふるさと割の補助金全体が700万円、そのうち408万円を割引のために使ったと、残りのお金は販路拡大等に使ったということによろしいんでしょうか。

地域振興課長 販路拡大等に係るものですか、配送とか連絡部分、消耗品に係る部分ですか、そういった部分の経費として、支出したものでございます。

議 長 ほかにございませんか。

1 3 番 二、三点質問させていただきます。

牛尾議員、石野議員が言われましたように、非常にいい決算を打たれております。本当に経営者の皆様方に大変ご努力をいただいたことを深く感謝いたします。

今もありましたように、損益計算書で見ましたら、まだ、ふるさと割が入っていないということでも、現金がこれを見ましたら4,000万円ほどあるんですか。非常にこう資金的にも余裕が出てきたなど、いい企業になってきたなど、このように見るわけでございます。

その中におきまして、今、いろいろ聞かれましたので、私は会計的なことをお聞きしたいと、このように思います。

まず、貸借対照表で、商品券という科目が、今までなかったように思いますが、私も商品券があるということは、これが出て初めて知ったわけでございますが、どのようになっていたのかなということをお尋ねいたします。

地域振興課長 商品券につきましては、27期の決算におきまして、初めて勘定科目に挙げさせていただいたものでございます。

商品券の取り扱いが、これまで適切でなかったため、27期の途中から商品券勘定を設けまして、仕分けを明確化したところでございます。

それまでにつきましては、流動負債という形の中で処理をさせていただいてお

りました。

- 1 3 番 商品券ですから、今までそういう処理をされていたということで、今後、明確にするためにこういう勘定科目をつくってされるということで、理解させていただいてよろしいでしょうか。

その商品券には、有効期限等はあるのでしょうか。

地域振興課長 商品券、実際に発行しておるんですが、有効期限等につきましては、記載をしていないというような状況でございます。

- 1 3 番 有効期限のないような債券を発行しているということになれば、トラブルになる元もあるわけですね。なかなかこう従業員とか、処理の仕方がわからなかったとか、いろんなことがありますので、そこらあたりを十分注意をして、管理していただきたいと、このようにお願いをいたしておきます。

次に、法人税でございますが、先の民生の委員会で、今年の法人税は、町が17万8,600円、県が23万4,100円、国税が52万4,400円と、このように報告を受けておりますが、昨年度と比べて、法人税はどうなっていたのかなということをお聞きいたします。

地域振興課長 今、説明をいただきました貸借対照表の負債の部で上がっております未払法人税等の欄で申し上げますと、今年度93万7,100円なんですが、昨年度18万5,000円というような状況でございます。

- 1 3 番 昨年度から今年度にかけて、国税とかそういう地方税が上がっているということでございますが、その原因は何でしょうか。

地域振興課長 当然、利益等が伸びたということも原因ではあるんですが、これまで過去の繰越欠損金という形で欠損金として利益分から控除されておりました金額につきまして、27期で繰越欠損金を引いた残りが生じてくるというような形で、これまでの繰越欠損金がなくなったというような形で、課税の対象になる金額が増えてきたというような形でございます。

- 1 3 番 繰越欠損が3年続いて黒字になったのでできなくなったと、こういうことで理解してよろしいのでしょうか。

地域振興課長 昨年度の申告の中で繰越欠損金を使い果たしたというような形の申告内容になっております。

- 1 3 番 わかりました。

それからしますと、2,500万円の収益が上がっているのに、国税が少し安いのかなと、このように見るわけなんですけども、私はその国税の税金の計算はようしませんけども、ここらあたりはどのようになっているのでしょうか。

地域振興課長 細かい数字で申し上げますと、今期の利益、税金控除前の金額が1,640万円程度あるんですが、繰越欠損金の金額が1,300万円余りあります。所得金額として課税の対象になりますものが330万円余りある状況でございますが、その法人税率800万円までの15%の税率ですとか、地方税分、それから町民税分、県民税分、法人県民税分ですとか、地方法人特別税というような形のもの、全てを合わせまして、93万7,100円という形になっております。

議長 ほかにございませんか。

- 1 3 番 次に、4番の未払費用というのが上がってきておりますね。貸借対照表の負債の部で、未払費用というのが。これはどのようなものが入っているのでしょうか。

地域振興課長 未払費用につきましては、これまで低く抑えておりました従業員等のモチベーションを上げるために、従業員に期末手当を支払うこととしまして、挙げさせていただきました金額でして、人事考課等のために支払時期がおくれたことによりまして、未払費用という形で計上させていただいたものでございます。

1 3 番 大変いいことをされていると、私はこのように思います。

やはり利益が出たときは、従業員の方に還元してあげて、モチベーションを上げて、もっともっと、もちむぎ食品センターを活性化していくということで、大変いいことだと思います。

これは内部的にされていることですが、外部的に、昔、もち麦生産者が麦を作っても、なかなか麦代金がくれなかったんだというような経緯があるわけです。そういう方々にも、もしもそういうのがあれば、今後また考えていただければというようなことをと思いますが、いかがなものでしょうか。

地域振興課長 生産者の方への利益分配という形でございますが、もちむぎ食品センターにつきましては、全農のほうから協議会を通じまして仕入れをしているところでございます。

そういった面も含めまして、町全体としまして、そのあたりの部分について、検討をさせていただきたいというふうに考えております。

1 3 番 もち麦生産者の方はいろんなイベントに出られて、大変もち麦を広めておられます。そういうようなことがありますので、また、そのようなことに対しても、利益が出たり、こういうようなときには、還元いうたらおかしいんですけども、何かいいような方策がないものかなと、期待するわけでございます。

次に、損益計算書で、売上ですね。今、売上の質問もあったのですが、もちむぎ麺が一番よく売れているということです。子ども議会でもそのように答弁されておられました。

もちむぎ麺を見ましたら、いろんなものが入って麺ができています。現実的にもち麦を売っているのは製粉、粉ですね。粉もの。精麦、そして焼酎に使われるときの原麦、これがあるかと思いますが、その粉、精麦、原麦で、量としてはどのぐらいの売上をされているのかなということをお聞きします。

地域振興課長 27期の実績で申し上げますと、粉、製粉の部分につきましては、9.4トン余り、それから、精麦につきましては32トン余り、もち麦焼酎につきましては6トン、合わせて47.5トン程度の使用をしております。

1 3 番 もち麦の主力は今や精麦に移っていると、このように考えていいわけですね。

それを見ましたら、町長の今議会の冒頭の挨拶にありましたように、もち麦を生産するのに面積を増やしても量は増えないんだということですね。

その量をやはり安定的に供給していくというのが、今後の経営については大事なところかなと、私は考えるわけでございます。

やはりその安定的いいましたら、いろいろ試験的にもち麦を作っているわけですが、やはりそのベータグルカンが多い、毎年平均的にこれだけとれるんだとかいうようなことで、そのような品種も今後考えていくべきではないか、また、加工性について、精麦の場合、この75、25%まですりおろす。俗に言うふすまですか。そうなるわけでございますが、そういうような製造過程における加工性とか、いろんなものを勘案して、今後安定的にとれるような品種を考えていただきたいと、このように思うわけでございますが、そこらあたりにつきましては、もち麦振興会ですか、そこの会長さん、どのような見解を持っておられますか。

副 町 長 私、副町長に就任いたしまして、もち麦産地振興協議会の会長にもなっております。私にということで、ご質問がありましたですけども、今、米澤2号という品種を作っておるんですけども、これも一方では根強い人気があるというふうに思っております。そして、仙系160号、それから四国裸ですか、いうよ

うな品種についても、試行的に作りまして、研究をさせていただいているという状況でございまして、今後はその推移を見ながら、産地振興協議会とか、いろいろな場で相談をさせていただきながら、方向を決めさせていただきたいなというふうに思います。

1 3 番 その品種ですけれども、やはり生産者としては、安定的にとれる麦で、作りやすいというのを望むわけでございます。

また、製造業者としては、かたさとかやわらかさとかいうのを勘案して、どうすればベータグルカンが一番落ちないかという加工性というような問題も出てこようかと思っております。

商品にすれば、今まで売ってきた色とか、そういうのがございまして、そこらあたりは十分考えまして、極端なこと言えば、麵用と精麦用と分けて作るとか、いろいろな方法もあろうかと思っておりますので、そこらは十分検討して、今後の経営に生かしていただきたいと要望するわけでございます。

議 長 しばらく休憩いたします。再開は10時45分といたします。

◇

休憩 午前10時30分

再開 午前10時45分

◇

議 長 会議を再開をいたします。

高井議員から、少しおけると連絡がございました。報告をしておきます。

議案に対する質疑を続けてまいります。

町 長 質問議員の事柄につきましては、今後の検討とさせていただきたいと思っておりますわけでありまして、もち麦生産量、今後の販売等については、地域振興課長も申しあげましたように、本年、焼酎の在庫量も少なく、9月には約6トン出していかなければならない。また、販売店向けには、約20トン予定するといったような形もとらなければならぬといったような形になっております。

本年につきましては、作付面積が50ヘクタール、予想の収穫量を85トンといったような形の中で推移をさせていただく予定といたしております。

本年、地域加速化交付金等をいただきながら、研究を重ねていきたいと思っておりますし、また、来年の2月にはもち麦フォーラムを開く予定だということにも聞いております。

その中におきましては、NHKで講演いただきました大妻女子大学の池上先生、また、本年の2月にフォーラムで発表していただきました小林クリニックの院長、それと平野管理栄養士、今までご講演をいただいたこの3人の方々に活動していただくといったような形をとりたいというように思っております。

当然、機能性表示等の分野の研究もしていかなければならないわけでありまして、県立大学でありますとか、神戸大学でありますとか、地元の神戸医療福祉大学等との連携等も図っていくといったような形の中で、福崎町におけるそのもち麦の特産といったような分野は、定着させていく、もう定着しておるように見えるわけでありまして、一過性の部分もあるのではないかとというように危惧しております。それらを含めながら研究を重ねてまいりたいと、このように思っておりますので、よろしく願いいたします。

議 長 ほかにございせんか。

1 0 番 このもち麦の生産に関する表も出していただいておりますが、農協がいったん買い上げるのは、キロ幾らで買い上げているんでしょうか。

地域振興課長 もちむぎ食品センターにつきましては、精麦の全農からの買い上げ価格につい

て、約36円で買い上げを行っております。

農林振興課長 生産者から農協が買い上げるのは、キロ24円と聞いております。

1 0 番 四国のもち麦の産地として、最近取り組んでおるところ、委員会で昨年視察に行ったわけですが、なかなかその生産量も上げているというふうな話でありました。

キロ24円ということでは、それこそ生産に対する意欲が上がるのかどうか、そここのところ疑問に思うのですが、精麦にして食品センターから売るときには一定の値段で出されておりますので、この24円というふうなものは、本当にこの生産意欲を沸き立てるような、妥当な価格なのかどうか。どこで決まっておるのか。もっと上げられないのか。そこら辺のところはどうなんでしょうか。

農林振興課長 もち麦の値段につきましては、米・麦・大豆等、全農のほうで決まっております。福崎町のもち麦だけ、特に値段を上げるというようなことはできないというふうになっております。

1 0 番 その辺に大きな問題があろうと思うんですが、本来、作ることにしてのその喜びを、もっと盛り上げていくということが必要だと思うんですね。

補助金だけで、成り立っているなら、これはもう一つこの喜びというのが出て来ないと、意欲というのが出て来ないし、後継者も問題になるのではないかというふうに思うので、その点を思います。

それからこの元々の目的が農業あるいは商工業の振興ということであったのですが、もう一面のこの商工業の振興との関係で、販売店の売上がマイナスになっておりますが、現在、販売店は町内、町外それぞれ何店舗で、売上はどのぐらいの額になっておるのでしょうか。

地域振興課長 まず、町内の販売店の軒数ですが、27期で49軒でございます。町外の販売店の軒数につきましては、110軒でして、町内の販売店の売上高が1,484万5,300円、それから、町外の販売店の売上高が3,251万290円となっている状況でございます。

1 0 番 福崎へ来れば、どこの飲食店でももち麦の旗が揚がっているという格好になる形が望ましいなというふうに、いつも私は昔から思っておるんですけどね、なかなかそういう形にならない。イベントなどではもち麦の焼きそばですか、あれも人気があるということで、それぞれよく売れるということのようですが、これが日常的に、福崎町へ来るともういろんな商店で、飲食店で、もち麦の旗が立っておって、その製品が食べられるというふうな形になっておれば、もっともち麦の町福崎ということになるというふうなことを、もう常々、もう始まったときから私言っておるわけですが、その面から言いますと、この販売店の実績が若干減ってきておる。それから、外回りの職員を2名から1名に減らして、経費の削減を図っているというふうなことなんですけれど、この件については、本来の目的に照らして、この点については、どのように考えておられますか。

地域振興課長 販売店についての人件費、人員を削減してというような形の部分につきましては、26年に策定いただきました経営改善実行計画に基づきまして、販売店の整理をし、店舗に合った商品提案を行うなど、改善に努めさせていただいているところでございます。その店舗数を減らしたりという形で整理ばかりをするのではなく、もちむぎ食品センターのほうからも提案等を行って、充実等に努めているところがございます。

1 0 番 先ほどその、昨年は700万円のふるさと割があったというふうなことです。これらをこういうふうな町内の商工業者向けの販売にも役立てているというふうなことがやられて、どの程度効果があったのか、わかりますでしょうか。

地域振興課長 先ほど申し上げましたように、ふるさと割につきましては、もちむぎのやかた以外にも町内12店舗のほうですとか、通販を通じまして販売を行っているところでございまして、その売上額については、今、手元資料を持ち合わせていないわけですが、町内の店舗でももちむぎ麺を3割引で販売を行ったというような形で、地域の活性化に、利益向上に向けて、対応させていただいたものと、本来の目的の地域の消費喚起というような形で貢献できたというふうに考えております。

1 0 番 それからこの外注費の関係ですが、どういうものを外注に回されて、どの程度の効果があったのかと、外注に回すのと回さないとは、どの程度の効果があったのか、お聞かせいただきたいと思っております。

地域振興課長 外注加工費につきましては、素麺の加工等で620万円余りを支出しております、そのほかにもカステラですとか粉の加工、精麦加工、精麦の袋詰め等を行っております、特に素麺の加工等につきましては、加工を外注することに伴いまして、半生麺ですとか乾麺のもち麦製品を自社で販売の状況、そういった部分と調整をしながら、生産過多にならないように、また、賞味期限切れですとか、そういった形でロスにもならないような形で努めてまいっているところでございます。

1 0 番 いずれにしても、町内の各民間の商工業者は、固定資産税も払い、あるいは家賃も払い、非常に苦労しながらやっておるわけですが、食品センターについては、そういうものもなく、あるいは集客等も非常にその周辺に大きな観光投資なども含めてやられておりますので、非常に大きな行政上のメリットも受けながらやっておるわけですから、これが元々本来の納税者である町内の商工業者やら、あるいは農家に直接もつと還元される方向を常に考えておいてほしいというふうに思います。これは要望です。

町議 長 当然そのような方向で検討は加えさせていただきます。

長 ほかにございませんか。

1 番 28期実施計画書の中の売上原価についてお尋ねをしたいと思います。

売上原価の棚卸額が期首の299万597円、今回、期末の棚卸高が500万円、これは何か大きなもんをしたとか、もうかったから残したとか、そういうことなんでしょうか。お尋ねをします。

地域振興課長 期首の棚卸額につきましては、27期の決算額は299万円、それから29期の予算額について、500万円となっております関係につきましては、半生麺ですとか乾麺など、もちむぎ麺の関係が312万6,000円余りというような形で増えていることが原因となっております。

この部分につきましては、2月に行いました販売促進のキャンペーン等に乾麺などを使用した関係で、その製品の在庫が多くあるものというふうに分析しております。

1 番 そしてこの28年の予算のところで、100万円で408万2,985円と、これからもそういうような感じで在庫のほういうか、棚卸のほうはそういう感じでいく予定なんでしょうか。

地域振興課長 これより前期、26期になりますが、棚卸の部分につきましては、できるだけ棚卸ロスがないような形、また、賞味期限切れで捨てないといけないような棚卸が発生しないような形で改善をずっと努めてきたところでございます。

そのあたりを含めまして、27期、1年間過ぎた状況の中で、約500万円弱の額の棚卸が生じるのではないかという形で、今後も含めまして推移を見守っていきたいというふうに考えております。

1 番 額が上がると、賞味期限切れとか、その辺がまた気になることになりますので、

十分注意をしていただきたいと思います。

以上です。

議 長 ほかにございませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、報告第10号、平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第48号、人権擁護委員の推薦について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次、議案第49号、教育委員会委員の任命について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第50号から議案第57号までの議案は、決算認定についての議案であります。質疑は大綱にとどめ、詳細については委員会をお願いをしたいと思います。

議案第50号、平成27年度福崎町一般会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第51号、平成27年度福崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第52号、平成27年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第53号、平成27年度福崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次、議案第54号、平成27年度福崎町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次、議案第55号、平成27年度福崎町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第56号、平成27年度福崎町水道事業会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

1 0 番 監査委員さんにお尋ねをいたしますが、閉会中の民生まちづくり常任委員会の報告のとおり、福田水源地ではエアによる白濁水の対応がまだ後を引いております。

委員会で確認をしたところ、3年間にわたる事業で大きな金額であったわけですが、その支払いは既に完了をしているということでした。それは設計どおりに全ての工事ができ上がっているということを確認しての支払いだというふうなことであったわけですが、以降、白濁水ということで、現在もなお対応が続いているということなんですが、この件については先に支払いを済ませてしまったということを含めて、監査委員さんはどのように見ておられるのか、お聞かせをいただきたいと思います。

代表監査委員 福田水源地の白濁の件については、事案が発生した段階から例月出納検査の機会を利用して、報告をいただいております。

先ほど議員がおっしゃいましたように、どこかに瑕疵があるのか、業者に瑕疵があるのかということが大きく出てくるのかと思います。

報告をいただいた中では、基本的には設計、それから施工、そのいずれにおいてもその基準に則ってされたものだというようなことをございましたので、現在のところはそれについての瑕疵、支出が適正でないかというようなところまで監査委員としては判断をしていないところをございます。

以上でございます。

議 長 ほかにございませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第57号、平成27年度福崎町工業用水道事業会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次、議案第58号、平成27年度福崎町水道事業剰余金処分について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次、議案第59号、福崎町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第60号、平成28年度福崎町一般会計補正予算(第2号)について、質疑はありませんか。

9 番 一般会計の補正で、事項別明細書の2ページ、国庫支出金で社会保障・税番号制度システム整備費補助金ということで、523万7,000円が計上されております。

民生費でありますとか、民生費以外にも、あったかと思うんです。で、いわゆるそのシステム改修業務委託ということと、総合運用テスト支援業務ということで、それぞれ個人番号、社会保障税番号制度というふうに言い方は二つぐらいが示されているようですが、法的には個人番号という名称も使われているようですが、この流れというんですか、一定この補正前にももう計上されて、実際に執行されてきた部分があると思います。

今、新たにまたこの補正で、全国的な取り組みというふうには理解するんですが、この全体として、この今、個人番号、社会保障・税番号制度というものが、どのように改修業務というふうなものを進めていかなければならないのか、総合運用テストというものについて、テストを実際にやって、どういうふうな内容の

ものなのか、その辺についてお答えください。

企画財政課長 システム改修につきましては、総務費関連、また厚労省関係がありました、昨年度、27年度で総務省関連の改修テストは終わっております。これにつきましては、団体内の連携テスト、また、個人番号と町内における個々の番号等がございますので、そのひもづけするための改修をしております。

この補正につきましては、厚労省関係を上げておりますが、運用テスト、総合運用テストを行うに当たってのシステム改修ということで、団体内の連携も含めまして補正予算を上げているところであります。

議 長 ほかにございませんか。

9 番 見通しとしては、このシステム改修、テストをやってみなければわからない部分があるかもしれませんが、テストとして一応うまくいけば、もうこれで基本的に改修業務なり、テスト支援、テスト業務というものは終わるんでしょうか。

企画財政課長 議員言われましたように、システム改修につきましては、このたびの補正に対応する部分で終了するものと思っております。

ただ、運用テスト、総合運用テストにつきましては、国のほうが来年度も予定している期間となっておりますので、また予算のほうをあげる時期が来るとは思っております。

9 番 最終的なテストというものが、これが済んだ後に予定されているという説明のようですが、最終的なテストというのは、それはどういう性格のものなんでしょうか。

企画財政課長 最終的なテストといいますか、総合運用テストにおきまして、今年度で実施するもの、また、29年度で実施するものがあると認識しております。

議 長 ほかにございませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第61号、平成28年度福崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

議案第62号、平成28年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次、議案第63号、平成28年度福崎町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次、議案第64号、福崎町道路線の認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

以上をもって、本定例会に付議されました全ての報告、議案に対する質疑を終結いたします。

日程第3 討論・採決

議 長 日程第3は、討論・採決であります。

この際、お諮りをいたします。

議案第48号、議案第49号については、委員会負託を省略し、本会議において、ただいまから即決したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

よって、議案第48号、議案第49号については、本会議において即決することに決定いたしました。

それでは、討論・採決を行います。

議案第48号、人権擁護委員の推薦について、討論を行います。

討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これから、採決を行います。

議案第48号、人権擁護委員の推薦について、原案のとおり同意することに賛成の方は起立をお願いいたします。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第48号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

議案第49号、教育委員会委員の任命について、討論を行います。

討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これから、採決を行います。

議案第49号、教育委員会委員の任命について、原案のとおり同意することに賛成の方は起立を願います。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第49号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第4 特別委員会の設置

議 長 日程第4は、特別委員会の設置であります。

本件を議題としてお諮りいたします。

議案第50号から議案第57号までの計8件の議案は、平成27年度の一般会計を初め、各特別会計及び企業会計の歳入歳出決算認定であります。

平成27年度の各会計の歳入歳出決算認定議案につきましては、議長及び城谷監査委員を除く12人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を審査終了まで設置したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

各会計の歳入歳出決算認定につきましては、決算審査特別委員会を設置し、この委員会で審査することに決定いたしました。

重ねてお諮りをいたします。

ただいま設置されました決算審査特別委員会の委員の選出につきましては、福

崎町議会委員会条例第7条の規定により、議長が議会に諮り、指名することになっております。

よって、議長が指名することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

それでは、指名をいたします。

2番、三輪一朝議員。

3番、牛尾雅一議員。

4番、志水正幸議員。

5番、松岡秀人議員。

6番、高井國年議員。

7番、北山孝彦議員。

8番、山口純議員。

9番、石野光市議員。

10番、小林博議員。

11番、富田昭市議員。

12番、釜坂道弘議員。

13番、宮内富夫議員。

以上の12名を指名いたします。

ただいま指名いたしました議員12名を、決算審査特別委員会委員とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

ただいま指名いたしました12名を、決算審査特別委員会委員に選任することに決定をいたしました。

なお、特別委員会の委員長及び副委員長については、委員会条例第8条第2項の規定により、委員会において互選することとなっておりますので、委員会において互選をお願いをいたします。

日程第5 委員会付託

議 長 日程第5は、委員会付託であります。

それでは、議案第50号から議案第64号までの議案を、それぞれの委員会に付託いたします。

議案第50号から議案第57号までは決算審査特別委員会に、議案第58号は民生まちづくり常任委員会に、議案第59号、議案第60号は総務文教常任委員会に、議案第61号から議案第64号は民生まちづくり常任委員会に、以上のおり付託したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

よって、決算審査特別委員会は8件、総務文教常任委員会は2件、民生まちづくり常任委員会は5件、以上15件をそれぞれの委員会に付託いたしますので、よろしく願いいたします。

以上で、定例会2日目の日程は全て終了いたしました。本日はこれをもって散会といたします。お疲れさまでした。

散会 午前 11時20分